

# 都市再生整備計画 事後評価シート

## 黒沢尻地区

令和4年3月

岩手県北上市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	岩手県		市町村名	北上市		地区名	黒沢尻地区		面積	195.5ha			
交付期間	平成30年度～令和2年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	2,207百万円	国費率	0.499				
1)事業の実施状況	事業名												
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	上川原常盤台線交差点改良、上川原常盤台線歩道改良、病院内バス情報案内設備、北上警察署東線整備(道路舗装)、北上済生会病院南線整備(歩行者専用道路)、ツインモールプラザ前バス待合所整備、北上駅前バス待合所整備、病院前バス停留所整備、子育て世代包括支援センター整備、北上済生会病院移転										
		提案事業	-										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	-		-		-		-				
		提案事業	-		-		-		-				
	新たに追加した事業	基幹事業	本通り駐車場	-		-		子育て世代包括支援センターの整備に加えて、子育て世代活動支援センター、地域交流センター、健康管理センターを一体的に整備することになり、高齢者や子育て世代の利用者の安心・安全を確保するために、駐車区画の拡幅整備等を実施する		保健・子育て関連施設に一体整備されるキッチンスタジオの追加に伴い、市内同種施設(1日平均利用人数:8人)の1.4倍の規模であることから、目標値に11人追加とする。			
		基幹事業	子育て世代活動支援センター整備	-		-		北上市健康管理センター等整備デザイン会議において、新施設に整備すべき機能を協議・検討した際に、子どもの遊び場や一時保育の一体的整備が必要であるとの結論に至ったことから、整備する機能(施設)を追加		同上			
		基幹事業	地域交流センター整備	-		-		平成31年3月に策定した北上市建築物最適化計画において、上記の子育て世代活動支援センターや、下記の子育て世代包括支援センターと複合化して整備するため追加		同上			
		提案事業	事業効果分析調査	-		-		事業成果の検証や今後の持続的なまちづくりに向けた更なる事業展開を検討するため追加。		影響なし			
	交付期間の変更	当初	平成30年度～令和2年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
	変更	-		-		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	中心拠点区域の人口	人	8,067	H29	8,067	R2	-	8,095	○	あり なし	地区内の整備事業における地区内の居住環境の向上	
	指標2	北上市保健・子育て関連施設の利用者数	人/日	200	H28	420	R2	-	101	×	あり なし	● 新型コロナウイルス感染拡大によって、一般開放を見合わせており貸館の利用が制限されていた。そのため計画当時に想定された利用数に至っていない	令和4年5月時点
	指標3	市民交流プラザの利用者数	人/日	63	H30	77	R2	-	46	×	あり なし	● 新型コロナウイルス感染拡大によって、一般開放を見合わせており貸館の利用が制限されていた。そのため計画当時に想定された利用数に至っていない	令和4年5月時点
	指標4	市内バス利用者数	人/年	593,206	H27	640,000	R2	-	443,732	×	あり なし	● 新型コロナウイルス感染拡大により、外出の自粛が求められ利用者減。また、一部の路線バス廃線による利用客減	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1	市民意識調査「健康づくりの推進と地域医療の充実」の満足度	点	4.27	H28	/	/	-	4.29	/	/	北上済生会病院が移転し、医療サービスが向上したため	
	その他の数値指標2	市民意識調査「子育て環境の充実」の満足度	点	4.03	H28	/	/	-	4.01	/	/	子育て世代包括支援センターと子育て世代活動支援センターを一体として整備したことで、子育てサービスの水準が高くなったため	
	その他の数値指標3	市民意識調査「みんなで支える公共交通体系の構築」の満足度	点	3.70	H28	/	/	-	3.58	/	/	市内のバス路線の一部が廃線し、コミュニティバスに変わったが、従前と比べて本数や曜日に限られてしまったため	

4) 定性的な効果 発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 北上済生会病院は、日常的な市民の健康と生命を守る地域の二次救急医療機関として必要な役割を担い、より利便性の高いサービスを提供できた</li> <li>○ 病院周辺の道路改良及びバス停留所や歩道の整備によって、アクセスの向上及び歩行者に対しても安全で通行しやすい道路環境となった</li> <li>○ 中心拠点区域内に妊娠期から子育て期までの子育て支援を一貫して行う「子育て世代包括支援センター」を複合整備し、利用者の安心感や利便性が向上した</li> <li>○ 北上済生会病院に隣接する場所に病後児保育室を移転し、医療と子育ての連携強化を図ることができた</li> <li>○ 北上駅、ツインモールプラザ、北上済生会病院の3つの拠点を中心に、バス路線の再編とそれに伴う利用者の増加に対応した待合機能や情報発信機能の強化に取り組み、交通結節点としての機能を強化したことで交通弱者の方への利便性向上を図ることができた</li> </ul>				
5) 実施過程の評価		実施内容	実施状況	今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	なし	
	住民参加 プロセス	北上市健康管理センター等整備デザイン会議 住民ワークショップ	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	hoKko利用者へのアンケートからイベントの開催や子育て世代への切れ目のない支援を継続して行う。
		病院運営協議会 新病院基本計画策定に係る住民意見の募集 人間ドッグに係る要望調査 新病院建設事業住民説明会 交通安全対策の説明 建設工事現場見学会 新病院内覧会開催	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	
		持続的なまちづくり 体制の構築	在宅医療介護連携拠点 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	●	継続した取り組みが行うことが出来る連携体制の強化。

## 様式2-2 地区の概要

### 黒沢尻地区(岩手県北上市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値			
大目標: 医療・福祉・子育てを支え、ふれあいや交流が生まれる「あじさい都市」きたかみの都市拠点の形成 目標1 医療機能の適正配置による安心安全な暮らしの実現 目標2 子育て世代を支える機能の充実 目標3 高齢者にやさしい公共交通ネットワークの構築	中心拠点区域の人口	単位:人	8,067	H29	8,067	R2	8,095	R2
	北上市保健・子育て関連施設の利用者数	単位:人/日	200	H28	420	R2	101	R2
	市民交流プラザの利用者数	単位:人/日	67	H30	77	R2	46	R2
	市内バス利用者数	単位:人/年	593,206	H27	640,000	R2	443,732	R2



高次都市施設



道路



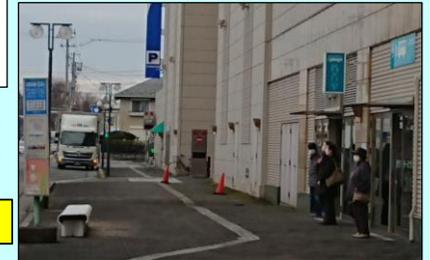
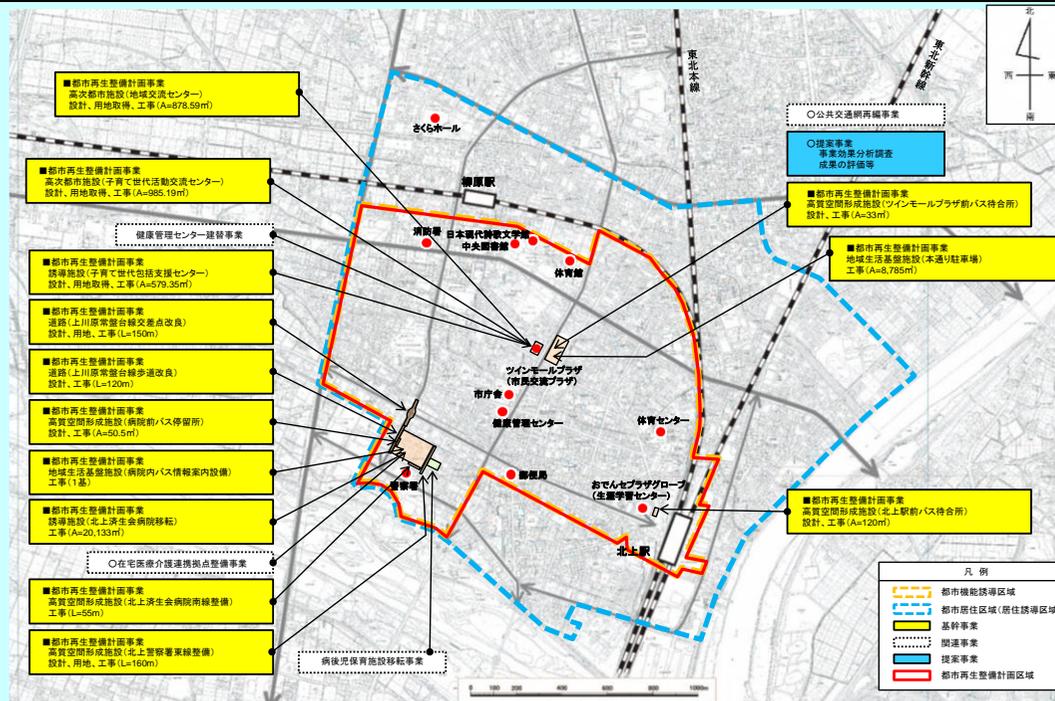
地域生活基盤施



中心拠点誘導施



高質空間形成施



高質空間形成施設



高質空間形成施設

まちの課題の変化

- ・ツインモールプラザに整備した「保健子育て支援複合施設hokko」に来た人が、周辺の商店街へ足をのぼすよう、回遊性の向上が必要。特に、北上駅とツインモールプラザ間の回遊性を高める必要がある。
- ・本通り駐車場の未改修のフロアにも、高齢者や子ども連れの人が利用しやすい駐車区画を設置することにより、利便性の向上を図ることが必要。
- ・公共交通に関しては、中心拠点内の北上駅、済生会病院、ツインモールプラザ間の公共交通のネットワークの強化、利便性の向上を図ったが、今後、バス利用を阻害している要因を分析したうえで、各地域拠点と中心拠点の連携の強化、地域拠点の交通拠点の利便性向上等が必要。
- ・高校生等の公共交通利用促進に向けた方策の検討。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・民間団体への貸館のPR、イベントの開催、芸能まつり等の他のイベントとの連携等、多様な利活用の方策の検討。
- ・子育て世代の交流機会の創出・高齢者等の立体駐車場の改修について周知し、利用を促進。
- ・子ども連れや高齢者が利用しやすくなるよう、未整備の階についてもゆとりある駐車スペースの整備を検討・中心拠点と各地域拠点を結ぶ路線の充実。
- ・地域拠点における交通拠点の形成。高校生等の公共交通利用促進に向けた方策の検討。
- ・ツインモールプラザから、周辺の商店街への回遊性の向上。ツインモールプラザから北上駅までの商店街の魅力、回遊性の向上。

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

			変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標	●		指標1「中心拠点区域の人口」 指標2「市民意識調査『健康づくりの推進と地域医療の充実』の満足度スコア」 指標3「市民意識調査『子育て環境の充実』の満足度スコア」 指標4「市内を運行する路線バス及びコミュニティバスの総利用者数」	指標1「中心拠点区域の人口」 指標2「北上市保健・子育て関連施設の利用者数」※第1回変更 指標3「市民交流プラザの利用者数」※第2回変更 指標4「市内を運行する路線バス及びコミュニティバスの総利用者数」	指標2及び指標3は、市民の満足度調査の結果を採用していたが、満足度は今回の都市再生整備計画以外の要因によっても変動が生じる可能性があり、今回の事業効果をより直接的に計測するために指標を変更した。
C. 目標値	●		指標3「市民交流プラザの利用者数」 保健・子育て関連施設と一体的に整備することで、利便性が向上し、コミュニティが構築できる環境を実現したことを示す。直近3年間の平均値から10%増加した66人を目標値とする。	保健・子育て関連施設と一体的に整備することで、利便性が向上し、コミュニティが構築できる環境を実現したことを示す。直近3年間の平均値から10%増加した数値を目標値とする。また、キッチンスタジオは、市内同種施設(1日平均利用人数:8人)の1.4倍の規模であることから、11人追加した77人を目標値とする。 ※第3回変更	保健・子育て関連施設に一体整備されるキッチンスタジオの追加に伴い、市内同種施設(1日平均利用人数:8人)の1.4倍の規模であることから、目標値に11人追加とする。
D. その他( )		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	上川原常盤台線交差点改良	54	道路改良 (L=150m,W=15m)	74	道路改良 (L=150m,W=15m)	工事対象面積の増加等による事業費増 電柱の移設費用の補償費による事業費増	影響なし	●	
道路	上川原常盤台線歩道改良	52	道路改良 (L=120m,W=20m)	52	道路改良 (L=120m,W=20m)	なし	影響なし	●	
地域生活基盤 施設	病院内バス情報案内設備	2	バス情報案内設備設置 (1基)	14	バス情報案内設備設置 (1基)	工事内容変更後の設計の結果、事業費増	影響なし	●	
地域生活基盤 施設	本通り駐車場	—	—	36	自走式、東館：立体8層、 西館：立体4層、計1,470 台、40,170㎡ 改修部分(8,785㎡、思い やり区画：120区画)	ツインモールプラザ内に子育て世代包括 支援センターや健康管理センターが入居 する方針が平成30年7月に決定し、開業す る令和2年度以降、多数の高齢者や子育 て世代が同建物に隣接している本通り駐 車場を利用することとなる。そこで、利用者 の安心・安全を確保するために、駐車区画 の拡幅整備等を実施するもの	指標2～指標4に影響するが、他の要因で変動する可能性もあるため、 指標及び数値目標は据え置く	●	
高質空間形成 施設	北上警察署東線整備(道路舗装)	29	道路拡幅、舗装 (L=160m,W=4m)	29	道路拡幅、舗装 (L=160m,W=4m)	なし	影響なし	●	
高質空間形成 施設	北上済生会病院南線整備(歩行者 専用道路)	3	歩行者専用道整備 (L=55m,W=4m)	3	歩行者専用道整備 (L=55m,W=2m)	道路幅員の変更	影響なし	●	
高質空間形成 施設	ツインモールプラザ前バス待合所整 備	8	バス待合用上屋整備 (A=20㎡)	19	ツインモールプラザ内装工事 (A=33㎡)	バス停横付近に待合所を設置する計画で あったが、バス停近くの建物内に空きス ペースが生じ、利用者の利便性を考慮した 結果、建物内を改装して待合所とするため	影響なし	●	
高質空間形成 施設	北上駅前バス待合所整備	23	バス待合用上屋整備 (A=25㎡)	27	バス待合用上屋(A=120㎡) 案内設備(1基)	ツインモール前、済生会病院前のバス停 留所と共に、市内中心部の基幹をなす停 留所であり、利用者も多いことから、待 合所整備に合わせて情報案内設備も追加す るため	影響なし	●	
高質空間形成 施設	病院前バス停留所整備	20	バス待合用シェルター整 備 (A=26㎡)	16	バス待合用シェルター整備 (A=50.5㎡)	バス停留所と歩廊の配置調整が発生した ことで、上屋の長さが16mから28m(面積 は32㎡から50.5㎡)に変更 工事費は詳細設計の結果、減額	影響なし	●	
高次都市施設	子育て世代活動支援センター整備	—	—	425	延床面積985.19㎡	平成31年3月の第1回計画変更にて追加 ツインモールプラザ内の床を購入し、子育 て世代の社会活動を支援する施設を準備 するため	指標2及び指標3は、市民の満足度調査の結果を採用していたが、第1 回計画変更で今回の事業効果をより直接的に計測するために指標2、3 が新たに追加された。その後、第3回計画変更で地域交流センター内に キッチンスタジオが追加整備され指標3が変更となった。	●	
高次都市施設	地域交流センター整備	—	—	379	延床面積878.59㎡	令和元年5月の第2回計画変更にて追加 平成31年3月に策定した北上市建築物最 適化計画において、上記の子育て世代活 動支援センターや、下記の子育て世代包 括支援センターと複合化して整備すること となったため	指標2及び指標3は、市民の満足度調査の結果を採用していたが、第1 回計画変更で今回の事業効果をより直接的に計測するために指標2、3 が新たに追加された。その後、第3回計画変更で地域交流センター内に キッチンスタジオが追加整備され指標3が変更となった。	●	
中心拠点誘導 施設	子育て世代包括支援センター整備	43	RC3階建て 床面積70㎡	250	既存の鉄骨造り8階建て の2階部分を改修して入居 予定 床面積579.35㎡	地域交流センター等と一体的に整備する ためのレイアウトや面積変更 各居室の取り扱いや労務費の高騰による 事業費増	レイアウトや面積の変更があった。指標2及び指標3は、市民の満足度調 査の結果を採用していたが、第1回計画変更で今回の事業効果をより直 接的に計測するために指標2、3が新たに追加された。その後、第3回計 画変更で地域交流センター内にキッチンスタジオが追加整備され指標3 が変更となった。	●	
中心拠点誘導 施設	北上済生会病院移転	879	RC5階建て 床面積16,330㎡	879	RC5階建て 床面積16,330㎡	なし	影響なし	●	

※1:事業費の大規模変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1ー② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業									
事業活用調査	事業効果分析調査	—	—	5	都市再生整備計画の事後 評価	令和2年1月の第4回の計画変更にて追加	影響なし	●	
まちづくり 活動推進事業									

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更 計画			
在宅医療介護連携拠点整備事業		新北上済生会病院内	29	29	平成30年～ 平成32年	平成30年～ 令和2年	令和2年に竣工し、同年11月から利用が開始され、地域介護拠点としての役割を發揮している。		
健康管理センター建替事業		ツインモールプラザ内	900	900	平成31年～ 平成32年	令和元年～ 令和2年	令和2年3月に開設され、子育て世代包括センターの事業との複合化で同一設備内に整備された。		
病後児保育施設移転事業		新北上済生会病院内	11	11	平成30年～ 平成32年	平成30年～ 令和2年	令和2年にすでに竣工し、同年11月から利用が開始されている。		
公共交通網再編事業		黒沢尻地区	204	204	平成29年～ 平成32年	平成29年～ 令和2年	まちなかバスターミナルを中心に公共交通の利便性が向上した。		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし		
指標1	中心拠点区域の人口	人	住民基本台帳データを用いて、中心拠点区域の人口を算出した。	—	—	8,067	H29	8,067	R2	モニタリング	—	—	モニタリング	—		
										事後評価	確定 ●	8,095	事後評価	○		
指標2	北上市保健・子育て関連施設の利用者数	人/日	北上市保健・子育て関連施設(保健施設、子育て支援センター、児童家庭相談室、一時的保育事業、室内子どもの遊び場、子育て相談など)の令和3年4月5日(開業)から11月30日までの利用者数から1日平均の利用者数を算出する。	—	—	200	H28	420	R2	モニタリング	—	—	モニタリング	—	●	
										事後評価	確定 ●	101	事後評価	×		
指標3	市民交流プラザの利用者数	人/日	市民交流プラザにおける展示スペース、会議室、研修室、キッチンスタジオの令和3年4月5日(開業)から11月30日までの利用者数から1日平均の利用者数を算出する。	—	—	63	H30	77	R2	モニタリング	—	—	モニタリング	—	●	
										事後評価	確定 ●	46	事後評価	×		
指標4	市内バス利用者	人/年	平成30年度、令和元年度、2年度の「バス利用状況」「北上市コミュニティバス利用状況」より算出する。	—	—	593,206	H27	640,000	R2	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定 ●	443,732	事後評価	×		

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	人口減少社会において計画以前と令和2年度の評価値を比較し、人口の微増が確認された。地区内の整備事業効果における居住環境向上が人口の微増の要因と考えられる。	—
指標2	令和3年4月～11月の評価値は101人/日であった。新型コロナウイルス感染拡大で、一般開放を見合わせており貸館を行っていなかったため、計画当初の想定していた目標に達しなかった。	新型コロナウイルス感染拡大による影響が大きくなった。
指標3	令和3年4月～11月の評価値は46人/日であった。新型コロナウイルス感染拡大で、一般開放を見合わせており貸館を行っていなかったため、計画当初の想定していた目標に達しなかった。	新型コロナウイルス感染拡大による影響が大きくなった。
指標4	令和2年度の評価値は443,732人であり、目標値の640,000人には達していない。当初の方針は利用者維持であったが、路線の減少による利用者の減少が考えられる。さらに、新型コロナウイルス感染拡大で、密な空間を避ける形で利用が懸念されたことや不要不急による外出の自粛などが影響していると考えられる。	新型コロナウイルス感染拡大による影響が大きくなった。

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)		
				基準年度	基準年度	モニタリング	確定	見込み				
その他の数値指標1	市民意識調査「健康づくりの推進と地域医療の充実」の満足度	点	北上市の施策に関する市民意識調査「健康づくりの推進と地域医療の充実」の満足度スコアを用いる。	4.15	H26	4.27	H28	モニタリング	—	—	目標「医療機能の適正配置による安心安全な暮らしの実現」を目指して、北上済生会病院を移転整備することにより、安全・安心なまちの再構築への効果を検証する指標である。	—
								事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標2	市民意識調査「子育て環境の充実」の満足度	点	北上市の施策に関する市民意識調査「子育て環境の充実」の満足度スコアを用いる。	3.81	H26	4.03	H28	モニタリング	—	—	目標「子育て世代を支援する機能の充実」を目指して、保健・子育て支援複合施設を整備することにより、北上市において安心して子どもを産み育てることができる環境づくりへの効果を検証する指標である。	—
								事後評価	確定 ●	見込み		
その他の数値指標3	市民意識調査「みんなで支える公共交通体系の構築」の満足度	点	北上市の施策に関する市民意識調査「みんなで支える公共交通体系の構築」の満足度スコアを用いる。	3.51	H26	3.70	H28	モニタリング	—	—	目標「高齢者にやさしい公共交通ネットワークの構築」を目指して、公共交通の拠点(北上駅、ツインモールプラザ)を整備することにより、「医療」「福祉」「子育て」機能へのアクセスを向上させ、車を運転できない高齢者などの交通弱者の利便性向上への効果を検証する指標である。	—
								事後評価	確定 ●	見込み		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

- 北上済生会病院は、日常的な市民の健康と生命を守る地域の二次救急医療機関として必要な役割を担い、より利便性の高いサービスを提供できた
- 病院周辺の道路改良及びバス停留所や歩道の整備によって、アクセスの向上及び歩行者に対しても安全で通行しやすい道路環境となった
- 中心拠点区域内に妊娠から子育て期までの子育て支援を一貫して行う「子育て世代包括支援センター」を複合整備し、利用者の安心感や利便性が向上した
- 北上済生会病院に隣接する場所に病後児保育室を移転し、医療と子育ての連携強化を図ることができた
- 北上駅、ツインモールプラザ、北上済生会病院の3つの拠点を中心に、バス路線の再編とそれに伴う利用者の増加に対応した待合機能や情報発信機能の強化に取り組み、交通結節点としての機能を強化したことで交通弱者の方への利便性向上を図ることができた

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
—	予定どおり実施した	—	—
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
北上市健康管理センター等整備デザイン 会議	予定どおり実施した	①実施回数:全18回 ②実施時期: ・子育て世代活動支援センターや子育て世代包括支援センターの整備における 会議	
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
住民ワークショップ	予定どおり実施した	①実施回数:全3回 ②実施時期: ・hoKkoの整備内容の説明会と整備に関する意見や要望を住民の方と協議	
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
病院運営協議会	予定どおり実施した	①実施回数:1回 ②実施時期:平成27年 ・病院運営に関する協議会	
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		
新病院基本計画策定に係る住民意見の募集	予定どおり実施した	①実施回数:1回 ②実施時期:平成28年 ・新病院基本計画策定に係る住民意見の募集	
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由 )		

人間ドッグに係る要望調査	予定どおり実施した		①実施回数:1回 ②実施時期:平成30年 ・人間ドッグに係る要望調査
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった(理由)		
新病院建設事業住民説明会	予定どおり実施した		①実施回数:1回 ②実施時期:平成30年 ・新病院建設事業住民説明会
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった(理由)		
交通安全対策の説明	予定どおり実施した		①実施場所:北上中学校、黒沢尻西小学校 ②実施時期:平成30年 ・交通安全対策の説明
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった(理由)		
建設工事現場見学会	予定どおり実施した		①実施回数:2回 ②実施時期:令和元年 ・建設工事現場見学会
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった(理由)		
新病院内覧会開催	予定どおり実施した		①実施回数:1回 ②実施時期:令和2年 ・市内外の方に向けた上済生会病院の内覧会実施
	予定はなかったが実施した	●	
	予定したが実施できなかった(理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
在宅医療介護連携拠点	予定どおり実施した	●	地域住民の窓口となって、北上市の病院や福祉介護施設のつながりを円滑にすること。在宅医療と介護サービスの提供体制の構築推進。年3回の協議会を通じた取り組み体制の可視化。	北上市 保健福祉部長寿介護課
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			
				継続した取り組みが行うことが出来る連携体制の強化。

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内会議	健康づくり課、子育て支援課、道路環境課、都市再生推進課、都市計画課	令和4年1月14日	都市計画課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1		その他の数値指標1					
指標名		中心拠点区域の人口		市民意識調査「健康づくりの推進と地域医療の充実」の満足度					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	道路／上川原常盤台線交差点改良	○	・基幹事業の実施によって、中心拠点における保健、子育て、療機能の充実、公共交通の利便性向上が図られる等、居住環境が向上した	◎	・北上済生会病院の移転代替えによって、施設全体が新しくなり、岩手中部医療圏の基幹病院として機能の充実が図られた。 ・健康管理センター、子育て世代包括支援センターを複合整備したことにより、利用者の安心感や利便性の向上、サービスの効率化が図られた。				
	道路／上川原常盤台線歩道改良	○		◎					
	地域生活基盤施設／病院内バス情報案内設備	○		◎					
	地域生活基盤施設／本通り駐車場	○		○					
	高質空間形成施設／北上警察署東線整備(道路舗装)	○		◎					
	高質空間形成施設／北上済生会病院南線整備(歩行者専用道路)	○		◎					
	高質空間形成施設／ツインモールプラザ前バス待合所整備	○		○					
	高質空間形成施設／北上駅前バス待合所整備	○		○					
	高質空間形成施設／病院前バス停留所整備	○		◎					
	高次都市施設 地域交流センター／地域交流センター整備	○		○					
	高次都市施設 子育て世代活動支援センター／子育て世代活動支援センター整備	○		○					
	誘導施設 医療施設／北上済生会病院移転	○		◎					
誘導施設 子育て支援施設／子育て世代包括支援センター整備	○	○							
提案事業	事業活用調査／事業効果分析調査	—		—					
関連事業									

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点区域内の高齢化による空き家問題に対する事業を取り組むことで、人口を維持</li> <li>・北上駅を中心とした都市拠点と地域拠点との公共交通のアクセス性維持・向上</li> <li>・定住人口の維持のために、空き家の活用や住み替えの促進への取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療・保健・子育ての拠点としての機能の維持</li> </ul>		
-------	---	--	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標2			指標3			指標4			その他の数値指標2			その他の数値指標3							
指標名		北上市保健・子育て関連施設の利用者数			市民交流プラザの利用者数			市内を運行する路線バス及びコミュニティバスの総利用者数			市民意識調査「子育て環境の充実」の満足度スコア			市民意識調査「みんなで支える公共交通体系の構築」の満足度							
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類					
基幹事業	道路／上川原常盤台線交差点改良	—	・子育て関連施設の整備によって支援する環境が整った	Ⅲ	—	・市民交流プラザだけでなく、付近の公共交通機能や子育て関連施設の整備によって新たな賑わいが創出された	Ⅲ	—	・路線バスが一部廃線となったが、コミュニティバスにより代替えし、公共交通が維持されている。	Ⅲ	—	・子育て世代包括支援センターと子育て世代支援センターの複合整備によって、子育てサポートの受け入れ態勢が充実した。	Ⅲ	—	・路線バスの路線数が減少する中で、コミュニティバスでの代替え、利用者数の多いバス停の待合所の整備等により、満足度の低下を抑制	Ⅲ					
	道路／上川原常盤台線歩道改良	—			—			—			—			—			—		—		
	地域生活基盤施設／病院内バス情報案内設備	—			—			—			—			—			—		—		
	地域生活基盤施設／本通り駐車場	△			—			—			—			—			—		—		
	高質空間形成施設／北上警察署東線整備(道路舗装)	—			—			—			—			—			—		—		
	高質空間形成施設／北上済生会病院南線整備(歩行者専用道路)	—			—			—			—			—			—		—		
	高質空間形成施設／ツインモールプラザ前バス待合所整備	△			—			△			—			△			—		—		
	高質空間形成施設／北上駅前バス待合所整備	—			—			—			—			—			—		—		
	高質空間形成施設／病院前バス停留所整備	—			—			—			—			—			—		—		
	高次都市施設 地域交流センター／地域交流センター整備	△			—			△			—			△			—		—		
高次都市施設 子育て世代活動支援センター／子育て世代活動支援センター整備	△		—		△		—		—		—		—								
誘導施設 医療施設／北上済生会病院移転	—		—		—		—		—		—		—								
誘導施設 子育て支援施設／子育て世代包括支援センター整備	△		—		△		—		—		—		—								
提案事業	事業活用調査／事業効果分析調査	—			—						—			—							
関連事業																					

※目標未達成への影響度  
 × ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。  
 ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。  
 △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。  
 —：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類  
 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。  
 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。  
 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	・積極的なPR、イベントの実施等による利用促進 ・子育て世代の交流機会の創出	・積極的なPR、イベントの実施等による利用促進	・高校生等の利用促進方策の検討 ・中心拠点と地域拠点を連携する公共交通ネットワークのあり方の検討	・今後もより一層の子育て支援サービスの充実に取り組む(hokkoでのイベント、講座等の充実、子育て世代の交流機会の創出等)	・高校生等の利用促進方策の検討 ・中心拠点と地域拠点を連携する公共交通ネットワークのあり方の検討

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
庁内会議	健康づくり課、子育て支援課、道路環境課、都市再生推進課、都市計画課	令和4年1月14日	都市計画課

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
北上市の医療を支える北上 済生会病院の老朽化	・北上済生会病院の移転建替えによって、施設全体が新しくなり、岩手中部医療圏の基幹病院として機能の充実が図られた。	—	
安心して出産や子育てができる サポート体制の構築	・子育て世代包括支援センターと子育て世代支援センターの複合整備によって、子育てサポートの受け入れ態勢を整え、子育て世代の安心感や利便性が向上した。 ・若者が滞留できる場が形成された。	・新型コロナウイルス感染拡大によって、一般開放、貸館を見合わせているため、計画策定時に想定した利用人数を大きく下回っている。 ・ツインモールプラザに整備した「保健子育て支援複合施設hoKko」の有効活用を図ることが必要。アフターコロナを見据え、民間団体への貸館のPR、イベントの開催、芸能まつり等の他のイベントとの連携等、多様な利活用の方策を検討することが必要 ・子育て世代の親同士による交流機会の創出が必要	・ツインモールプラザに整備した「保健子育て支援複合施設hoKko」に来た人が、周辺の商店街へ足をのばすよう、回遊性の向上が必要。特に、北上駅とツインモールプラザ間の回遊性を高めることが必要。 ・回遊性を高めるためには、バス利用者を増やすことが必要であることから、バス利用者を阻害している要因の整理と対策が必要。
地域内に点在する医療・福祉 サービスの連携強化による利 便性の向上	・健康管理センター、子育て世代包括支援センターを複合整備したことにより、利用者の安心感や利便性の向上、サービスの効率化が図られた。 ・北上済生会病院の移転建替えに合わせて、病後児保育室が整備され、利便性が向上した。 ・バス路線の再編により、上記の医療、保健、福祉拠点間の公共交通ネットワークが構築できた。	・ツインモールプラザに整備した「保健子育て支援複合施設hoKko」利用者に対して、本通り駐車場の改修を行ったが、高齢者等は立体駐車場の利用に対して抵抗感がある方が多いことから、利用促進に向けたPRが必要	・本通り駐車場の未改修のフロアにも、高齢者や子ども連れの人が利用しやすい駐車区画を設置することにより、利便性の向上を図ることが必要。 ・公共交通に関しては、中心拠点内の北上駅、済生会病院、ツインモールプラザ間の公共交通のネットワークの強化、利便性の向上を図ったが、今後は、各地域拠点と中心拠点の連携の強化、地域拠点の交通拠点の利便性向上等が必要。 ・高校生等の公共交通利用促進に向けた方策の検討。
高齢者などの交通弱者の増 加に対応した公共交通のサー ビス水準の向上	・路線バスが一部廃線となったが、コミュニティバスにより代替えし、公共交通が維持されている。 ・公共交通の利用者が多い、北上駅前、済生会病院、ツインモールの待合機能や情報発信機能が充実し、利用者の利便性、快適性が向上した。	・新型コロナウイルス感染拡大により、高齢者の外出機会が減少していること等により、公共交通の利用者が減少している。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業

B欄 改善策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
		・保健子育て支援複合施設hoKkoの利用促進	・民間団体への貸館のPR、イベントの開催、芸能まつり等の他のイベントとの連携等、多様な利活用の方策の検討 ・子育て世代の交流機会の創出
	・本通り駐車場の利用促進	・高齢者等の立体駐車場の改修について周知し、利用を促進 ・子ども連れや高齢者が利用しやすくなるよう、未整備の階についてもゆとりある駐車スペースの整備を検討	・本通り駐車場のPR ・本通り駐車場の改修
	・公共交通利用の促進	・中心拠点と各地域拠点を結ぶ路線の充実 ・地域拠点における交通拠点の形成。 ・高校生等の公共交通利用促進に向けた方策の検討。	・コミュニティバスのあり方検討 ・地域拠点の交通拠点のバス待合所等の整備検討 ・学生等の公共交通利用促進の検討
	・中心拠点内の回遊性の向上	◇まちの賑わいをもたらす ・北上市の中心市街地の中で最も賑わいがあり、様々な人々が交流することができる拠点として、都市機能の充足を図る。	■商店街(新穀町、本通り一丁目、諏訪町等) ・アーケードの撤去と街並み再整備 ・リノベーションやソフト事業の展開による空き店舗の解消、商業機能の再構築 ・地域コミュニティ機能の再興
		◇ゆったりとくつろげる環境を提供 ・まちなかのオアシス空間的存在の諏訪神社が立地するという特性を活かしながら、高品質な都市空間やサービスを提供する。	■本通り二丁目(旧かぎやデパート及びその周辺) ・老朽化建物の除去・整備 ・空き店舗の解消、商業機能の再構築 ・低未利用地の活用
		◇まちを訪れる人々をもてなす ・北上市の表玄関であり、顔である駅前に対応しい高品質な景観とサービスの提供、並びに近未来を見据えた交通拠点に対応しい環境の形成。	■諏訪町名店街及びその周辺 ・老朽化建物の除去・整備 ・周辺街区の土地利用改善 ・諏訪神社と整合した一体的な環境形成
		◇まちのメインストリート ・コンバクトシティにとって重要な要素であるウォーカブルな環境形成におけるシンボルストリートとして、市民が誇りと愛着を感じられるような環境の創出。	■柔剣道場等 ・運動施設の機能更新 ・民間活力の導入による魅力の増進
			■北上駅西口周辺(おでんせプラザ、駅北駐車場、駅前広場) ・老朽化再開発ビルの再整備 ・低未利用地の活用 ・北上市の顔である駅前景観の整備 ・交通拠点と視点の機能更新
			■北上駅前から新穀町(動線) ・街並み整備改善(老朽建物の再整備) ・安全で快適な回遊動線の整備 ・楽しく歩けるサービスの提供 ・緑やポケットパーク等の整備

フォローアップ又は次期計画等において実施する改善策を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

- 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
- 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
- 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
- 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
- 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

特になし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	中心拠点区域の人口	人	8,067	H29	8,067	R2	確定 ●	8,095	○	あり			
							見込み			なし			
指標2	北上市保健・子育て関連施設の利用者数	人/日	200	H28	420	R2	確定 ●	101	×	あり ●	令和4年5月時点	北上市保健・子育て関連施設の供用後1年間の利用者数を集計し、その値をもって1日平均の利用者数の確定値とする。	
							見込み ●			なし			
指標3	市民交流プラザの利用者数	人/日	63	H30	77	R2	確定 ●	46	×	あり ●	令和4年5月時点	北上市保健・子育て関連施設の供用後1年間の利用者数を集計し、その値をもって1日平均の利用者数の確定値とする。	
							見込み ●			なし			
指標4	市内バス利用者数	人/年	593,206	H27	640,000	R2	確定 ●	443,732	×	あり ●			
							見込み			なし ●			
その他の数値指標1	市民意識調査「健康づくりの推進と地域医療の充実」の満足度	点	4.27	H28			確定 ●	4.29					
							見込み						
その他の数値指標2	市民意識調査「子育て環境の充実」の満足度	点	4.03	H28			確定 ●	4.01					
							見込み						
その他の数値指標3	市民意識調査「みんなで支える公共交通体系の構築」の満足度	点	3.70	H28			確定 ●	3.58					
							見込み						

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大による影響が小さい指標の目標数値設定を行うべきである。</li> <li>・新型コロナウイルス感染が大きく影響している指標について、感染の影響が少ない期間において指標を確認することで、次につながる。</li> </ul>
	うまくいかなかった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北上市保健・子育て関連施設の利用者数、市内バス利用客数に関しては、新型コロナウイルス感染拡大が大きく影響している。</li> </ul>	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に関わる直接的な指標を用いることで、目標の達成を評価することが出来た。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大による影響が小さい指標の目標数値設定を行うべきである。</li> <li>・従前値の算出方法の記録を保管しておくことが必要である。</li> </ul>
	うまくいかなかった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北上市保健・子育て関連施設の利用者数、市内バス利用客数といった直接的な指標を設定したが、新型コロナウイルス感染拡大により、一般利用が制限され、評価値の算出に苦慮した。</li> <li>・地区人口算出にあたって、町丁目の一部分しか対象地域になっていない場合の地区人口を、従前値ではどのように算出したのか記録がなかった。</li> </ul>	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保健・子育て支援複合施設hoKkoや北上済生会病院を整備するにあたって、市民参加型のワークショップや導入の可能性を探るトークイベントの開催によって、子育て世代や地域住民の要望・意見を踏まえた計画を策定した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設整備前に地域住民や関係者へのヒアリングによる要望・意見を踏まえ、整備の有無や計画の構想を行うなど事業効果を高めるために有効である。</li> </ul>
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所管、関係各課が参加した庁内会議を通じて、都市再生整備計画事業の整備効果を次のステップのまちづくりの個別事業につなげていくことが確認された。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果発現要因の確認や今後のまちづくり方策などの検討にあたっては、所管、関係各課による幅広い視点から検討を行い、個別事業の整理を行うことが有効である。</li> <li>・利用者、事業者、専門家による定性評価を行うことで明確に課題を確認することができる。</li> </ul>
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

### 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

本市の顔である北上駅西口駅前エリアから、ツインモール周辺の回遊性を高める必要があることから、まちなかウォークアブル推進事業等の活用を検討中。

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	令和4年3月4日 ～ 令和4年3月18日	令和4年3月4日 ～ 令和4年3月18日	担当課への電話、 電子メール	都市計画課 (都市再生整備計画 担当課)
広報掲載・回覧・個別配布	—	—	—		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	—	—	—		

住民の意見	・特になし				
-------	-------	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	株式会社都市構造研究センター 代表取締役 南部 繁樹 東北大学大学院工学研究科 教授 姥浦 道生	令和4年3月24日	都市計画課 (都市再生整備計画 担当課)		北上市都市拠点形成プロジェクト専門家委員会(都市拠点形成分科会)
その他の委員	北上都心開発株式会社 管理部係長 高橋 邦治 北上商工会議所 専務理事 今野 好孝				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	
	成果の評価	新型コロナウイルス感染の影響が大きい指標についても、感染の影響が少ない時期で指標を確認することで、感染症以外の要因分析につながるとの意見があった。
	実施過程の評価	
	効果発現要因の整理	利用者・事業者・専門家のそれぞれの定性評価があると課題が明確になり、より次につながるとの意見があった。
	事後評価原案の公表の妥当性	
	その他	
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	整備計画に基づき施設整備とあわせて、まちなかの拠点をバス路線が経由できるように再編を行ったことで利便性が向上したが、今後まちなかへの回遊性を高めるためには、バス利用を阻害している要因を分析整理し、その課題を解決することが重要であるとの意見があった。
	フォローアップ	
	その他	本通り駐車場について、今後、西館のみならず東館の整備を期待する意見があった。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	
その他		

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

### (7) 有識者からの意見聴取

#### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--

# 都市再生整備計画 事後評価シート

くろさわじり  
黒沢尻地区

岩手県 北上市

令和4年3月

事業名	確認
都市構造再編集集中支援事業	<input checked="" type="checkbox"/>
都市再生整備計画事業	<input type="checkbox"/>
まちなかウォークアブル推進事業	<input type="checkbox"/>

目標及び計画期間

都道府県名	岩手県	市町村名	北上市	地区名	黒沢尻地区	面積	195.5	ha	
計画期間	平成 30	年度 ~	令和 2	年度	交付期間	平成 30	年度 ~	令和 2	年度

目標

大目標： 医療・福祉・子育てを支え、ふれあいや交流が生まれる「あじさい都市」きたかみの都市拠点の形成

- 目標1 医療機能の適正配置による安心安全な暮らしの実現
- 目標2 子育て世代を支援する機能の充実
- 目標3 高齢者にやさしい公共交通ネットワークの構築

目標設定の根拠

<p>都市全体の再構築方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用を含み、当該都市全体の都市構造の再編を図るための再構築方針)</p> <p>あじさい都市の中核を担う都市拠点として都市機能の集積や交通ネットワークの再構築といった都市機能の向上に取り組み、住みやすさや利便性の向上によって人口減少を抑制することが求められる。具体的には、市の中核的病院となっている「北上済生会病院」は、施設の老朽化や耐震性の確保、敷地の狭隘化などの問題を抱えていることから、移転建替えによって将来にわたって持続的な医療の確保を目指す。</p> <p>また、子育て世代の核家族化や生活様式・生活意識の都市化等に伴い増加している子育てへの不安や負担を軽減するための支援が求められている。その他、高齢化の進展等に伴う公共交通二ーズの高まりへの対応など、市民の安心・安全な生活を支えるための都市機能の再整備を行うことが課題となっている。</p> <p>そこで、平成30年3月に北上市立地適正化計画を策定し、北上駅や市役所を含む市内中心部を都市機能誘導区域と定め、大型店舗や病院、子育て世代包括支援センター、健康管理センター等を誘導施設として設定し、区域内の施設数を維持又は増加させるため、誘導施策を進めていくと共に、都市機能誘導区域内の人口の維持を目指す。あわせて、公共交通体系を整備し、コンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりを目指し、当市が掲げている「あじさい都市」の実現に向けて都市拠点の形成に寄与する事業を展開していく。</p>
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>・北上市は平成3年4月1日に旧北上市、和賀町、江釣子村の3市町村合併により誕生した。北上平野のほぼ中央に位置し、北上川と和賀川が合流する肥沃な土地に美しい田園地帯が広がり、西に奥羽山系、東に北上山系の美しい山々が連なる豊かな自然に恵まれている。古くから交通の要衝として栄え、国道4号、JR東北本線の南北幹線と国道107号、JR北上線の東西幹線が交差して旧来の市の骨格がつけられた。</p> <p>・東北自動車道、東北新幹線などの高速交通体系も整備され、平成9年には東北横断自動車道秋田線の全線が開通、北上ジャンクションが完成するなど交通の利便性が高まっている。そのような背景から人口は順調に増加し、平成9年度末には9万人に到達した。県下一位の工業出荷額をもつ活気ある都市として注目を集めている。</p> <p>・まちづくりにおいては、総合計画において「豊かな自然と先端技術が調和した魅力あふれるまち」を目標とし、活気あふれる街づくりを目指しているところである。総合計画では、地区ごとに地域の現状と課題をどのように解決すべきか検討した「地域計画」を定め、地域自らが政策立案を行ってまちづくりを行っている。</p> <p>・今回の事業対象区域である黒沢尻地区は、中心市街地として位置づけられており、市庁舎、学校、駅などの公共交通機能が集積する生活利便性の高い地域である。当該地区の北部側では黒沢尻西部土地区画整理事業により、環境の健全な住宅地の形成の整備を進めており、地区の人口も横ばいで推移してきた。一方で、直近5ヶ年では人口は減少傾向にあり、今後の同様の傾向が続いた場合には人口が大きく減少することが想定される。</p>
<p>課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北上市の医療を支える北上済生会病院の老朽化</li> <li>・安心して出産や子育てができるサポート体制の構築</li> <li>・地域内に点在する医療・福祉サービスの連携強化による利便性の向上</li> <li>・高齢者などの交通弱者の増加に対応した公共交通のサービス水準の向上</li> </ul>
<p>将来ビジョン(中長期)</p> <p>【総合計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「豊かな自然と先端技術が調和した魅力あふれるまち」を将来都市像とし、市民参画型の行政運営により施策の推進を図ることとしている。</li> </ul> <p>【都市計画マスタープラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「都市機能の集約と地域連携による持続可能な都市『あじさい都市』きたかみ」を目指すべき都市像として、「まちなか地区」においては、交通結節点としての機能の充実により、既存の都市機能を維持しつつ、多様な都市機能の集積に向けた計画的な土地利用を図るとともに、主要な公共施設については先導的に集積を図ることとしている。</li> </ul>

都市構造再編集中支援事業の計画 ※都市構造再編集中支援事業の場合に記載すること。それ以外の場合は本欄を削除すること。

都市機能配置の考え方

誘導施設は、居住者の共同の福祉又は利便性向上のために必要な施設とされています。北上市では、北上市都市計画マスタープランにおいて拠点の機能又は施設として位置づけられているもののうち、市全体を支える中核的な機能を担う施設や、多くの市民の利用が見込まれ、公共交通でアクセスしやすい場所に配置すべき施設である医療施設、保護衛生施設、子育て支援施設及び商業施設を誘導機能として設定します。これにより、人口減少・高齢化の進行が予想される中、将来にわたって持続可能な街としてあり続けるために、歩いて移動できる範囲に生活圏を支える都市機能を集中させると共に、拠点内及び拠点間を公共交通で結ぶことで「高齢者や子育て世代が安心して暮らせるまちづくり」を進めます。

また、小中学校等の法令により適切な通学距離が規定されている施設、又は地域包括支援センター等や市の計画に拠点の配置基準が示されている施設は、誘導施設に位置付けないこととします。更に、もっぱら施設周辺に居住する市民に対して日常生活を支援する機能を持つ施設は、各拠点地域に配置されていることが望ましいことから誘導施設に位置付けないこととします。

都市再生整備計画の木曜を達成するうえで必要な誘導施設の考え方

市では、中心部に位置する再開発ビルの一部をコンバージョンして、室内子どもの遊び場や市民交流プラザ、子育て世代包括支援センター等が入居する複合施設を整備する。併せて、利用者の利便性を高めるために建物内の立体駐車場やバス待合所の整備をする。

また、民間事業者が10年以上前に郊外に移転した県立病院跡地を活用して、総合病院を移転建て替えることから市でも支援すると共に、周辺道路やバス停留場の整備をする。

都市の再生のために必要となるその他の交付対象事業等

なし

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	目標年度	
				基準年度			
中心拠点区域の人口	人	本都市再生整備計画の対象エリアであり、公共交通の利便性の高いエリアである中心拠点区域の人口	過去5年間の傾向によると中心拠点区域内の人口は今後減少することが想定されるため、人口の維持は区域内の住みやすさや魅力が向上したことを示す。	8,067	H29	8,067	R2
北上市保健・子育て関連施設の利用者数	人/日	保健施設、子育て支援センター、児童家庭相談室、一時的保育事業、室内子どもの遊び場、子育て相談などの1日平均の利用者数	駐車場や公共交通網が整備されている市内中心部に機能を複合化することで、利便性が向上し、子育てしやすい環境、健康診断等を受診しやすい環境を実現したことを示す。	200	H28	420	R2
市民交流プラザの利用者数	人/日	市民交流プラザにおける展示スペース、会議室、研修室、キッチンスタジオの1日平均の利用者数	上記の保健・子育て関連施設と一体的に整備することで、利便性が向上し、コミュニティが構築できる環境を実現したことを示す。直近3年間の平均値から10%増加した数値を目標値とする。また、キッチンスタジオは、市内同種施設(1日平均利用人数:8人)の1.4倍の規模であることから、11人とする。	63	H30	77	R2
市内バス利用者数	人/年	市内を運行する路線バス及びコミュニティバスの総利用者数	利用者数の増加は、快適で利用しやすい公共交通ネットワークが構築されたことを示す。	593,206	H27	640,000	R2

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【医療機能の適正配置による安心安全な暮らしの実現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北上済生会病院は、日常的な市民の健康と生命を守る地域の二次救急医療機関として重要な役割を担っており、より利便性の高いサービスを提供するため「医療・福祉・子育て拠点」へ移転する。</li> <li>・病院へのアクセスを向上させるため、周辺の道路改良及びバス停留所の整備を行う。</li> <li>・病院の整備に伴い、周辺道路の歩行者の増加が考えられることから、歩道の整備や歩行者専用道の整備を行うことで、安全で通行しやすい道路の環境づくりを進める。</li> </ul>	<p>(基幹事業) 中心拠点誘導施設／北上済生会病院移転                      (基幹事業) 道路／上川原常盤台線交差点改良                      (基幹事業) 道路／上川原常盤台線歩道改良                      (基幹事業) 高質空間形成施設／北上済生会病院南線整備                      (基幹事業) 高質空間形成施設／北上警察署東線整備                      (基幹事業) 高質空間形成施設／病院前バス停留所整備                      (基幹事業) 地域生活基盤施設／病院内バス情報案内設備整備                      (関連事業) 在宅医療介護連携拠点整備事業</p>
<p>【子育て世帯を支援する機能の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北上市において安心して子どもを産み育てることができる環境づくりを進めるため、中心拠点区域内に母子保健をサポートする拠点を整備する。</li> <li>・現在、老朽化が進行している健康管理センターの建替えに伴い、妊娠期から子育て期までの子育て支援を一貫して行う「子育て世代包括支援センター」を複合整備し、利用者の安心感や利便性の向上を目指す。</li> <li>・また、北上済生会病院に隣接する場所に病後児保育室を移転し、医療と子育ての連携強化を図る。</li> </ul>	<p>(基幹事業) 地域生活基盤施設／本通り駐車場                      (基幹事業) 高次都市施設／子育て世代活動支援センター                      (基幹事業) 高次都市施設／地域交流センター                      (基幹事業) 中心拠点誘導施設／子育て世代包括支援センター整備                      (関連事業) 健康管理センター建替事業                      (関連事業) 病後児保育施設移転事業</p>
<p>【高齢者にやさしい公共交通ネットワークの構築】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・都市拠点と各地区の地域拠点が相互に連携するあじさい都市を実現するため、バス路線の再編とそれに伴う利用者の増加に対応した待合機能や情報発信機能の強化に取り組み、都市拠点へのアクセス性の向上と公共交通の利用促進を図る。</li> <li>・北上駅とツインモールプラザの2箇所を公共交通の拠点(北上駅周辺拠点、まちなか交通拠点)とし、既存施設を更新して交通結節点としての機能を強化することで「医療・福祉・子育て拠点」へのアクセスを向上させ、車を運転できない高齢者などの交通弱者の利便性の向上を目指す。</li> </ul>	<p>(基幹事業) 高質空間形成施設／ツインモールプラザ前バス待合所整備                      (基幹事業) 高質空間形成施設／北上駅前バス待合所整備                      (基幹事業) 高質空間形成施設／病院前バス停留所整備(再掲)                      (基幹事業) 地域生活基盤施設／病院内バス情報案内設備整備(再掲)                      (関連事業) 公共交通網再編事業</p>
<p>その他</p>	
<p>【市民との協働による事業の推進】</p> <p>本都市再生整備計画に位置づけられている事業は「北上市立地適正化計画」を基本としている。</p> <p>立地適正化計画の策定にあたっては、学識者によって組織された「立地適正化計画専門家会議」や地域住民を対象とした「立地適正化計画地域説明会」において検討を行っており、市民との協働による事業の推進を図っている。</p> <p>(開催状況)・立地適正化計画専門家会議 全4回(①平成28年8月3日、②平成28年9月28日、③平成28年12月16日、④平成29年3月29日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・立地適正化計画地域説明会 全6会場(期間:平成29年2月20日～平成29年2月28日、会場:本庁舎、和賀庁舎、江釣子交流センター、立花交流センター、鬼柳交流センター、飯豊交流センター)</li> </ul> <p>【官民連携によるまちづくり体制の構築】</p> <p>本都市再生整備計画に位置づけられている事業には、市と民間事業者が連携して行うものが複数ある。</p> <p>事業の実施にあたっては、民間事業者と意見交換を行いながら、官と民のパートナーシップによるまちづくり体制を構築することで、中心市街地の活性化に取り組んでいく。</p> <p>(民間事業者との連携による事業実施の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北上済生会病院との連携:北上済生会病院移転、在宅医療介護連携拠点整備事業、病後児保育施設整備事業</li> <li>・岩手県交通との連携:病院前バス停留所、ツインモールプラザ前バス待合所、北上駅前バス待合所、公共交通網再編事業</li> <li>・(一社)岩手県タクシー協会との連携:北上市地域公共交通網形成計画に基づく公共交通ネットワーク(協働型地域内交通等)の再構築</li> </ul> <p>【政策間連携体制】</p> <p>庁内体制として、「北上済生会病院新病院建設事業支援対策会議」を設置し、在宅医療介護連携拠点及び病後児保育室の設置について、施策間の連携を図る。</p> <p>【事業完了後の継続性】</p> <p>北上済生会病院内に在宅医療介護連携拠点を設置することにより、訪問診療体制構築による在宅医療の強化、医療と介護の連携促進が図られる。</p>	

